

子育て支援日本一の街 北九州

—“子育てを一人で悩むお母さんのいないまち”の構築—

公立中元校長 久保 哲哉

1. テーマ 子どもの生活リズムづくり(生活習慣)と家庭学習の習慣化
 - 保護者(特に母親)の願い(有効で楽しく豊かな子育ての方法と家庭学習の習慣化)に応える。
2. 内容 (準備し、配布する資料とプリントの作成・4点セット)
 - ① 北九州版 家庭教育資料
 - 親と子の対話資料 > 幼児期 児童期(低・高) 思春期
 - 方法の提示資料 > 特別支援学校について考慮する。
 - 生活のリズムづくり(生活習慣)は、すべての教育活動の基盤
 - ② 北九州版 家庭学習用プリントの開発
 - 国語・算数(1年～6年) 中学校 特別支援学校は別途考慮する
 - 特色
 - ア、 励ましの言葉、イラストのあるプリント(低学年)
 - イ、 ヒントのあるプリント
 - ウ、 応用的な問題のあるプリント
 - エ、 つまづきの要因や学年間の系統性のあるプリント
 - オ、 リピートのできるプリント
 - 以上、5点を充足させるプリントの作成
 - “心豊かで 自ら進んで学ぶ北九州っ子”を目ざしましょう。
3. 作成 (退職校長会有志の方々へ委嘱)
 - 豊かな経験と時間 先生方は多忙 市民総がかり
 - 先導的試行期間を含めて およそ1年間で準備は可能
4. 啓発・指導の方法(およそ2年間で習慣化は可能)
 - 家庭 学校(道徳の時間等)で、啓発・指導を推進し、地域(まち協・市民センター)がその啓発・指導をサポートする。
 - 個々の子どもが所期の目的をクリアできない場合は、学校や地域が協力して、保護者の願いに応えよう。
 - 市および市教委は、このテーマを最重要事業として位置づけ、三位一体(子ども家庭局 市教委 総務市民局)で支え合い高め合う教育を構築し、全市的に市民運動へ発展させよう。
 - 市議会は、超党派で教育支援を。子どもの生活習慣条例(仮)の制定を。

以上